資料2

# 宝塚市自立支援協議会・組織図

## 地域社会

障碍のある人が自立し、安心して暮らせるまちづくり

障碍のある人

個別支援会議A　個別支援会議B　個別支援会議C

**障碍のある人もない人もともに住みよいまち・宝塚**

**宝　塚　市**
関係課・機関の調整・協議

還元　個別ケース等のニーズ・課題・成功事例　報告

報告・提案（資源の開発・改善）

## 宝塚市自立支援協議会

*障碍のある人への支援の理念・価値観を共有*

- ▽ 権利擁護　……地域社会で安心・安全に暮らすための支援
- ▽ 社会参加　……就労・生きがい・余暇等、ひろがりのある暮らしの支援
- ▽ 地域活動　……市民がともに支えあう社会の実現に向けた活動への支援
- ▽ サービス　……地域社会でその人らしく暮らすためのトータルなサポート
- ▽ 発達保障　……子育て、教育等、ライフステージに応じた支援

### 事務局会議

**開催：月1回・随時**

○　個別支援会議から「地域の共通課題」を抽出・「成功実践例」を提出
○　中・長期的な課題として整理し、各会議間の連絡・調整、全体会・定例会の開催事務

※　メンバー：相談支援事業者・市障碍福祉課

**《特定相談支援事業所連絡会》**
（開催：月１回）
○　計画相談支援の実施等において、行政、特定相談支援事業所等の多様な障害福祉の関係者による連携及び障碍者等の支援体制の構築に関する協議を行う

### 全体会

**開催：年2回**

○　協議会の運営等を協議・確認
○　地域課題等を確認し、市に報告・施策提案へ

※　メンバー：学識経験者、権利擁護関係者、障碍者団体、市民団体、医療・保健・福祉・教育・雇用等関係機関等
（→　多種多様な地域の関係者によるゆるやかな集合体）

### 定例会

**開催：年２回**

○　地域の情報や各専門部会・プロジェクト・チームのテーマを共有し、具体的に議論
○　「合同部会」的に、全体会に上程する議題の調整・決定

※　メンバー：会長・副会長・各専門部会の部会長・副部会長
事務局・議題の関係機関等の代表者

### 障碍福祉基金活用検討会

**開催：年４回**

○　地域課題から障碍福祉基金の活用について検討
○　検討した施策について定例会・全体会に報告

※　メンバー：学識経験者、障碍者団体、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所の代表者等

### 専門部会

**開催：各部会年6回**

○　専門部会（常設）とプロジェクト・チームで構成。専門部会に部会長・副部会長を置く。
○　各部会の全メンバーで議論するプロセスを重視。　→「テーマを共有する」・「巻き込んでいく」
○　具体的なテーマ（中・長期的な課題）を設定し、プロジェクト・チームを追加・分化・統合する。

#### けんり部会

・権利擁護
・施設・病院からの地域移行　等

**プロジェクト・チーム（開催：随時）**

#### くらし部会

・居住の場の確保
・地域生活における安全・安心　等

**プロジェクト・チーム（開催：随時）**

#### しごと部会

・就労支援ネットワーク
・障碍のある人の雇用促進
・就労への理解促進
・工賃水準の向上　　等

**プロジェクト・チーム（開催：随時）**

#### こども部会

・障碍児の療育・教育
・障碍児の発達支援・生活支援
・障碍児の家庭への支援
・教育と福祉・医療等の連携　等

**プロジェクト・チーム（開催：随時）**